猪名とは播磨に赤尾津あり或人赤尾津は姫路の事なりと云ふ姫
は姫路の名なり姫は位し後の本庄に居を移
されしより彼地の猪名を尚姫へ新信し
て姫井山八幡寺と称し居るなり又赤尾
津後本庄姫路は二ツ共に一ツを兼害とし尚西を
本姫ときられ居を後小姫を庄の字に書
改るなり然迚て弱ぬへし又案ずるに
津とは西岸をいふ姫路は西岸なり何れ本
庄は西岸なり是を以て考れば古人赤尾
津は本庄の地名なりといつる説尤理あり

つり尚姫は赤尾津後本姫なりして姫路の
姫は同姫を兼れし事を古人姫は後姫
路は位し後は本庄は移りなりと是説なり
なや後左平記二十九之巻に言上御程左更
将軍第改公へ加賀の為尚忠は軍勢を催
されしなり内は生利仙福寺沢六位益田本堂
仁加保本城大梵寺海田とあり益田本堂
は姫田本庄の出張なりや益田本堂といふ人
田人の内は見へさ

一八 播宮